

2004年7月14日

繊維用加工樹脂事業の譲渡について

住友化学は、大日本インキ化学工業株式会社に、住友化学が有する日本国内の繊維用加工樹脂事業を譲渡することで同社と合意いたしました。2004年10月1日を目処に本事業に関する営業権を譲渡いたします。

住友化学の繊維用加工樹脂は、メラミン系樹脂、グリオキザール系樹脂、およびそれらの硬化剤（触媒）等から構成され、テキスタイルの形態安定加工、芯地の硬仕上げ加工分野等で広く使用されてきましたが、国内繊維産業の空洞化が急速に進む中、需要の減少に対応し、事業再編の一環として、本営業権の売却を決定しました。

住友化学は、個々の事業領域について競争力に着目して事業の取捨選択を行うことにより、一層の「選択と集中」を進めていますが、このたび、精密化学部門において当該繊維用加工樹脂事業を譲渡し、部門の経営資源を「精密合成技術を基盤としたSynthetic Specialty Chemicals事業」へ一層シフトさせることといたしました。

なお住友化学は、日本以外での本事業については、需要の伸びが予想される東アジアのマーケットを中心に、アジアでの製造・販売・技術サービス拠点であるタイのバラケミカル社（住友化学資本比率55%）にて、さらに品揃えを充実させ、引き続き販売を強化していく方針です。

以上